

資料2

長久手市文化の家自主事業報告書 (令和3年5月実施分から9月実施分まで)

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	「平日マチネ事業午後の佇み①～美しきアイルランド音楽」		
日時	令和3年5月13日（木）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	小松大（フィドル・ヴィオラ）、山本哲也（ギター）		
公演内容	Song for Silhouettes（小松大）、フィッシャーマンズ・リルト（アイルランド伝統曲）、ケリージグ・セット（アイルランド伝統曲）、希望の島、悲しみの島（アイルランド伝統曲）、トミー・ピープルズセット（トミー・ピープルズ）、ダニーボーイ（アイルランド伝統曲）、ラストポイント（ピエール・ベアベンスーザン）、アールズ・チェアセット（アイルランド伝統曲）、If ever you were mine（モーリス・レノン）、プランクシティ・デイビス（トーマス・コネラン）、ベア・アイルランド・セット（アイルランド伝統曲）		
入場者数	131	席設定 150	入場率 87.3%
チケット	1000円（前売） 1000円（当日）		
支出	【委託費】		90,000円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費	15,510円
	【使用料】	著作権使用料	3,388円
	計		108,898円
収入	【入場料】		133,000円
	計		133,000円
回収率	121.0%		
アンケート結果	<p>ほとんど初めて聴く曲なのになぜか懐かしさを感じた。泣けてくる曲もあり、心に染みる演奏だった。お二人のかけあいが楽しそう。（市内、50代女性）</p> <p>コロナ禍の中の開催ありがとう。久々に心の癒やしになった。（市内、男性）</p> <p>コロナ禍でも心の栄養は必要。文化の家ではその事を大事にして頂けて嬉しいかぎり！演奏者からステージ（生活）を奪わないのも大事だ。（市外、70代女性）</p>		
成果	<p>コロナ禍で緊急事態宣言下の中、感染症対策をしながら実施したイベント。平日の午後開催で、客層の年代も高くなるため集客が心配されたが、新聞掲載の効果もあり、まずまずの入りとなった。アンケートにも「来て良かった」「久しぶりの生演奏だった」などの声が多く聞かれた。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	第117回公演 創立70周年記念公演 人形劇団クラルテ「はてしない物語」		
日時	令和3年5月22日（土）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	永島梨枝子、西島加寿子、福永朋子、鶴巻靖子、藤田光平、梶川唱太、奥洞昇、宮本敦、齋藤裕子、竹内佑子、日高拍、徳永颯希 (共演) スペシャルダンサーズ：内田結花、新家綾		
公演内容	はてしない物語		
入場者数	278	席設定 350	入場率 79.4%
チケット	フレンズ2,000円、一般2,300円、高校生以下1,000円（前売） フレンズ・一般2,500円、高校生以下1,300円（当日）		
支出	【委託費】		1,790,129円
	【印刷製本費】	公演チラシ9,000部	15,709円
	【役務費】	チケットぴあ委託費	4,117円
	計		1,809,955円
収入	【入場料】		527,000円
		せとしん地域振興協力基金	554,000円
	計		1,081,000円
回収率			59.7%
アンケート結果	<p>コロナ禍の中、観れなくなるだろうと諦め半分でしたので観れて良かったし、子どもに観劇の機会を持たせてあげれたので良かった。（市内40代女性）</p> <p>特に後半にメッセージ性があった良かった。人は力を持ってしまったら変わってしまうというのが残酷だけど、何か現実味があってファンタジーだけど現実とかけ離れすぎてないのがおもしろかった。（市外10代女性）</p>		
成果	<p>300枚を超える前売販売等があったが、入場者は278名にとどまった。人々の新型コロナウイルス感染症に対する警戒心の高まりが影響を及ぼしたと推測される。この劇を通じて、自分自身を登場人物に置き換えることで、親からの自立や、自分自身と向き合う時間の大切さを考えるきっかけを作ることができた。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	メモリアル・コンポーザーズ①ストラヴィンスキー 春の祭典ピアノ2台版		
日時	令和3年6月17日（木）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	菅原拓馬（ピアノ）、丸尾祐嗣（ピアノ）		
公演内容	春の祭典（2台ピアノ版）（ストラヴィンスキー）、ペトルーシュカからの3つの断章（ストラヴィンスキー）、ピアノ・ラグ・ミュージック（ストラヴィンスキー）		
入場者数	98	席設定 94	入場率 104.3%
チケット	フレンズ1,800円、一般2,000円（前売） フレンズ・一般2,000円（当日）		
支出	【委託費】		110,000円
	【使用料】	著作権使用料	5,225円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費	13,508円
	【役務費】	ピアノ調律	45,100円
		計	173,833円
収入	【入場料】		181,000円
		計	181,000円
回収率			104.1%
アンケート結果	<p>なんであんなに立体的に迫ってくるのか、どこを取っても飽きるということのない演奏。心がわくわくと動かされた。MCも自分の言葉で喋っている感じが分かり易かった。（市外40代女性）</p> <p>野性味あふれるリズムと演奏をしっかりと楽しむことが出来た。ストラヴィンスキーの偉大さを感じるひと時を過ごせて楽しかった。（市外70代男性）</p> <p>すばらしい演奏だった。やはり生の演奏は感動的だ。お二人の人柄も人を包みこむような優しさにあふれ、とても共感もてるものだった。（市内70代女性）</p>		
成果	<p>ストラヴィンスキー没後70年を記念して開催した公演。プログラムを全てストラヴィンスキー作品で構成し、メインの「春の祭典」は、ストラヴィンスキー自身の編曲作品にこだわり2台ピアノで表現した。コロナ禍で緊急事態宣言の中、夜公演（午後7時開演）にもかかわらず、ほぼ満席となった。事業係職員のみでライブ動画配信を試み、オンラインでのアンケートも実施し、ほとんどの視聴者から満足という好評を得た。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	令和3年度自主事業エデュケーションプログラム「中学校であーと」		
日時	①令和3年6月30日(水)、7月1日(木)②令和3年7月9日(金)③令和3年7月15日(木)		
場所	①長久手市立長久手中学校②長久手市立長久手南中学校③長久手市立長久手北中学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	①福本真琴（チェロ）、福本真弓（ピアノ） ②小松大（フィドル）、中村大史（ギター） ③平光広太郎（ピアノ）、出宮寛之（ベース）、清水行人（ギター）		
公演内容	①文楽(黛敏郎)、愛の挨拶(エルガー)、チェロソナタ第2楽章(ショスタコーヴィチ)、ハンガリーラプソディ(ポッパー)、愛の夢第3番(リスト) ②アイルランド伝統曲メドレー、アイルランド伝統曲ジグメドレー、doolin(中村大史)、美しいドゥーン川の岸辺、バタフライ、アイルランド伝統曲リールメドレー ③Take the A train(Duke Ellington)、Summertime (George Garshwin)、【解説】C jam blues (Duke Ellington)、【実験】その場で作曲、Donna Lee(Charlie Parker)		
入場者数	①196人(全5回) ②288人(全3回) ③161人(全3回)		
支出	【委託費】		300,000円
	計		300,000円
収入	【入場料】	無料公演のため	0円
	【助成金】		122,000円
	計		122,000円
回収率			40.7%
アンケート結果	生演奏を初めて聞いたが、愛の挨拶が素晴らしすぎて涙がでてきた。(長久手中学校) きっかけ1つで人生が変わってしまうんだと思い、自分も好きなことに突き進んでいきたいと感じた。(長久手南中学校) ジャズの魅力や面白さに気づくことができ、音楽がもっと好きになりました。(長久手北中学校)		
成果	今回で16回目となる中学校へのアウトリーチ事業。コロナの影響で1年ぶりの開催となった。換気、MC時マスクの着用、広い部屋を使用、吹奏楽器を使用しないなど感染症対策を徹底して実施した。また、今回から生徒への事前・事後アンケートに加えて先生への事後アンケート、アーティストへの事後アンケートを実施し、実施後にはアーティストを交えて振り返り会を行うことで効果検証の精度を高めた。学校ごとに内容は様々であったが、アーティストが楽しそうに演奏する姿や、彼らの語る言葉を受けて、音楽の楽しさや好きなことに挑戦する大切さなど伝わるものが多く、キャリア教育に繋がる機会にもなった。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 夜の実験室～ジャズとクラシックのあいだ

日時 令和3年7月8日（木） 19時00分 開演

場所 情報ラウンジ

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 平光真彌（ヴァイオリン）、平光広太郎（ピアノ）

公演内容 亡き王女のパヴァーヌ（ラヴェル）、ガヴォット（ゴセック）、チャルダッシュ（モンティ）、スペイン（チックコリア）、東風（坂本龍一）

入場者数 46 席設定 46 入場率 100.0%

支出	【委託費】	40,000円
	計	40,000円

収入	【入場料】 無料公演のため	0円
	計	0円


回収率 0.0%

アンケート結果 仕事終わりに立ちよれる気軽な感じも嬉しい。（愛知県内・40代女性）
アドリブ出来ないと言いつつ、クラシックでもアレンジしている部分が魅力的だった。（愛知県内・60代女性）
ガヴォットで、クラシック奏者とjazz奏者の方で曲の流れの感じ方が全然ちがうのがみえて楽しかった。（愛知県内・20代女性）

成果 感染症対策のため閉鎖されていた情報ラウンジの開放に向けた試験公演。文化の家自主事業に多数出演実績のあるジャズ奏者とクラシック奏者が出演。異なるジャンルで活躍する二人が、まさにジャズとクラシックのあいだとなる音楽を生み出す新しい企画となった。同じ曲の解釈の違いが表出される場面もあり、来場者の興味を引いていた。設備面では、換気が一般開放までの課題となった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	フレンズ企画Part42 女声四声とピアノによる声楽アンサンブル演奏会 —アンサンブル・クノスペン—		
日時	令和3年7月11日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	市民参画事業（提携）		
出演者	アンサンブル・クノスペン 伊藤恵倫、松原美保（ソプラノ）、藤田ゆみ、加藤久子（アルト）、森泰子（ピアノ）		
公演内容	Stand alone、ホームソングメドレー・アメリカ編より～ケンタッキーの我が家・夢路より・峠の我が家、Furusato（Home Town）、椰子の実、浜辺の歌、《九ちゃんが歌ったうた》より～上を向いて歩こう・明日があるさ・ともだち・見上げてごらん夜の星を・心の瞳、ローレライ、カッチーニのAve Maria、Cantate komino in B♭- Psalm96		
入場者数	114	席設定 136	入場率 83.8%
チケット	1,000円（前売） 1,000円（当日）		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率	—		
アンケート結果	とても良かった。自分も「心の瞳」を練習しているが、また別の「心の瞳」に聞き入った。（70代女性） 親しみやすく、楽しいひとときだった。笑顔ときれいな声がよかった。（70代女性） 久しぶりのコンサートでもあり、知っている曲も多く、楽しかった。（70代女性）		
担当者コメント	日曜午後、平日午後、土曜夕方と、公演日時の試行錯誤を行っているフレンズ企画であるが、今回は日曜午後の開催とした。昨年の本企画は感染症対策で中止したため、久しぶりのホールでのフレンズ自主企画となった。当日は、準備や片付けなどの裏方や、ホワイエまわりなどに従事するフレンズスタッフの人数も最小限として運営を行った。例年12月にフレンズ企画で開催しているクリスマス・コンサートを、昨年は感染症対策の研修を兼ねたコンサートとして規模を縮小して開催したが、その成果も現れていたようである。なお、恒例の、公演後の出演者とフレンズスタッフとの交流会は中止とした。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 対話型鑑賞ワークショップ（日東工業社員向け体験版）

日時 8月12日(木) 午後2時

場所 長久手市内（日東工業本社）

事業の種類 普及・啓発事業

講師 川北真紀子、藤島えり子

公演内容 一つの芸術作品について、他者の考えを否定する事なく認め合いながら対話を進めることにより、コミュニケーション力向上を目指す。
今回は、市内に本社がある日東工業社員向けに体験版を行った。

入場者数 12 席設定 15 入場率 80.0%

支出	【委託費】	講師委託料	20,000円
	計		20,000円

収入	【入場料】	無料事業のため	0円
	計		0円

回収率 0.0%

アンケート結果 会社内でもこのような活動を通して個性を生かせる会社になりたい。（市外40代女性）
主観的価値観を拡大させる場として、自分を見つめ直す機会を得られた。一つの方向から物事を見る意識から自発的に多角視点を取り組もうと思えた。（市内20代男性）
人はそれぞれ思うところがあり、それを一旦聞くというところから対話ははじまると学んだ（どうしても自分と違うと否定してしまう世の中なので）（市外50代女性）

成果 長久手市内に本社がある日東工業の協力により、日東工業本社で働く方々を対象に、コミュニケーション力向上を目的としたWSを行った。体験版のため、1日限りの開催とした。講師は、すべての参加者が「対話」できるように配慮した。参加者の中には、「自発的に多角視点を取り組もう」「個性を生かせる会社に」という感想もあった。この講座は、日東工業にとっては社員のコミュニケーション能力向上、文化の家としては芸術鑑賞を通じた社会的効果の紹介ができた。




長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	おんぱく2021～ジャズは祭りだ！ 洪さ知らずオーケストラハイブリッドライブ		
日 時	令和3年8月1日（日）	15時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	洪さ知らずオーケストラ、文化の家創造スタッフ（弓立翔哉（パーカッション）、小田智之（ピアノ、作曲）、大脇ぼんだ（演劇）、林友里菜（ダンス）、小林大地（美術）、小西祐矢（美術）） 文化の家フランチャイズアーティスト（石川貴憲（サクソ）） オブジェ等美術作品制作：橋寛憲（造形作家）		
公演内容	森のホールでの客席50%での公演とYouTubeによる無料生配信・無料アーカイブ配信 （演奏曲：本田工務店のテーマほか） プレイベントとしてイオンモール長久手での子ども向け楽器制作ワークショップと制作した楽器を使用するミニ演奏会（7月22日実施）		
入場者数	221	席設定 236	入場率 93.6%
チケット	大人1,500円、子ども500円（前売）		
支 出	【委託費】		2,660,000円
	【消耗品】		6,600円
	【ピアノ調律費】		44,000円
	【印刷費】		360,449円
	【報償費】		342,000円
	【広告費】		224,400円
	計		3,637,449円
収 入	【入場料】		293,000円
	【助成金】	瀬戸信用金庫 地域振興協力助成金 文化庁助成金	1,293,000円 1,800,000円
	計		3,386,000円
回 収 率	93.1%		
アンケート結果	5歳の息子が手拍子したり、マラカス振ったりして楽しめたようでよかった。スタッフの方の対応も親切だった。（市外40代 女性） 楽しかった！おんぱく続けてください！応援します！（市内50代 男性） ライブは最高！ただ前回のようにプレイベントがいっぱいあるともっと良かった（市内30代 女性）		
成 果	コロナ禍での開催となり、おんぱくの醍醐味であるほとんどのWSやまちなかコンサートが中止となった。オンライン生配信と事前のコンテンツ配信を取り入れたことで、これまでにない新しい形のおんぱくを開催することができた。おんぱくという大きな行事で一人の感染者も出さず開催できたことは本当によかった。来場者や配信視聴者から、感動や喜びの声が多くあり、コロナ禍においても文化や芸術を求める人たちが多くいることを再認識した。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	ダンスであそぶワークショップ はずむココロはずむカラダ		
日 時	令和3年8月9日（月）	①11:00開始	②14:00開始
場 所	長久手市文化の家 舞踊室		
事業の種類	鑑賞・体験事業(子ども)		
出演者	創造スタッフ 林友里菜 松林 由華		
公演内容	体と心をやわらかくする、ダンスで遊ぶワークショップ ・ケンケン遊び、手遊び、全身ジャンケン ・風になってみよう、海になってみよう など		
入 場 者 数	14組(38人)	20組	入場率 70.0%
支 出	【委託費】		0円
	報償費		15,000円
	計		15,000円
収 入	【入場料】		無料のため 0円
	計		0円
回 収 率	0.0%		
アンケート結果	初めから終わりまで飽きさせないプログラムで楽しめた！（市外30代女性、子5歳） 恥ずかしがり屋の子が人前で体を動かしてよかった。（市内50代女性、子9歳） 今回のような子ども向け企画を楽しみにしています！（市内60代女性、子5歳） 子どもが飽きずに楽しんでいてよかった。全身使って楽しく遊べた（市内30代男性 子6歳）		
担当者コメント	ソーシャルディスタンスを上手に保ちながら、講師がプログラムを工夫して、子どもたちの集中力が途切れないように考えられていた。親子でたっぷりふれあいながら、子どもたちは夢中で体を動かす、いつの間にかそれが表現になっていて、自然な流れができてよかった。今後はこうしたワークショップからコンテンポラリーダンス公演鑑賞などにつなげていきたい。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 対話型鑑賞ワークショップ（市職員・教員向け体験版）

日時 令和3年8月12日(木) 午前10時

場所 長久手市文化の家 講義室2

事業の種類 普及・啓発事業

出演者 川北真紀子、藤島えり子

公演内容 対話型鑑賞とは、芸術作品を鑑賞し感じたことを中心に他者と対話を行うこと。他者の考えを否定する事なく認め合いながら対話を進めていくことにより、コミュニケーション力等をの上昇を目的とする。
今回は、市職員、市内小中学校教員向けに体験版を行った。

入場者数 15 席設定 15 入場率 100.0%

支 出	【委託費】	講師委託料	20,000円
	計		20,000円

収 入	【入場料】	無料講座のため	0円
	計		0円


回収率 0.0%

アンケート結果 多様な見方、意見があることのすばらしさを認識した。アートだけではなく、日々の生活や仕事でも大切にしたい。（市内30代男性）
一つの作品で沢山の見方があることを知り、とっても楽しかった。他の方の説明を聞き伝える力って難しいと思った。私も伝え上手になりたい。（市外20代女性）
とても面白く参加できた。学校現場でいろいろ活用出来そう。教員もたくさん参加出来るとよいが、電話申込のみだとほとんどの教員は申込み出来ない。（市外40代女性）


成 果 市職員、教員対象ということで、講師には「この講座は多様な見方を学ぶことより、コミュニケーション能力などに生かれます」という点を伝えることを重視していただいた。この講座で、いろんな人がいることを知ることは、様々な人と接する機会のある市職員及び教員にとって重要なことだという企画意図が伝わったと考えられる。教員の参加者募集の際は、募集時期や方法等について学校関係者と協議しておく必要があることがわかった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ホール見学SHOW		
日時	令和3年8月19日（木） ①11時00分開演 ②14時00分開演		
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	創造スタッフ：大脇ぼんだ（演劇）弓立翔哉（パーカッション）、小田智之（ピアノ） 魔界補佐官ブラクトミー、魔界戦士ドドス、魔界戦士ザンゲ、魔界帝王デスカイザー		
公演内容	文化の家オフィシャルYouTubeチャンネルに登場する魔界からやってきたキャラクター「魔界補佐官ブラクトミー」と演劇系創造スタッフの大脇ぼんだが掛け合いによる進行で、ビデオ森のホールの歴史や舞台機構を案内していく。後半は、舞台演出実演を兼ねた、魔界を冒険するストーリー仕立てのショート演劇を行った。音楽系創造スタッフの弓立翔哉（パーカッション）と小田智之（作曲・ピアノ）も登場し、随所に演奏を入れながら、音楽も楽しめる公演内容。		
入場者数	266	席設定 360	入場率 73.9%
支出	【委託費】		0円
	計		0円
収入	【入場料】		0円
	計		0円
回収率	—		
アンケート結果	<p>まかいのきよくや、ノリノリのきよくがたのしかった。（市内9歳女性）</p> <p>おもしろかったので、また来たい。（市内10歳男性）</p> <p>文化の家について知ることができ、私自身興味を持った。ショーも子供が楽しく観ていたのでよかった。（市内30代女性）</p> <p>ブラクトミーとぼんださんのかけ合いが良かった。音楽も感動した。（市内40代女性）</p>		
担当者コメント	<p>コロナ禍の子ども向け公演としては、多くのお客様に楽しんでもらうことができた。創造スタッフの個性が発揮され、文化の家 OfficialYouTubeチャンネルに登場するキャラクター「魔界補佐官ブラクトミー」も案内役として出演し、親しみやすい内容となってよかった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～ ①「医療現場で芸術を展開する／ホスピタルアートの可能性」		
日時	令和3年8月20日(金)	18時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	アートのまち創造事業		
出演者	松本茂章（聞き手・コーディネーター）、森口ゆたか（ゲスト）		
公演内容	<p>講演「医療現場で芸術を展開する／ホスピタルアートの可能性」 本講座は、文化芸術の施策が観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の各分野と横断的に実施することを求められている中で、全国の先進的な事例を当事者を招いて紹介するものである。</p>		
入場者数	17	席設定 40	入場率 42.5%
支出	【委託費】		100,000円
	【印刷製本費】		5,367円
	計		105,367円
収入	【入場料】		0円
	計		0円
回収率	0.0%		
アンケート結果	<p>全国配信はありがたい。未知の分野のお話を聴けて有意義だったし、文化の家にも興味を持った。（50代男性 オンライン・福岡県） アート＝人間の技・工夫という幅の広さを持ったものであることを初めて知った。非常に視野が広がった。（30代女性 会場・市内）</p>		
成果	<p>初回として、市内には愛知県内でも有数の大学病院があることから、医療現場での芸術活動の展開を紹介する講座とした。 オンライン配信を実施し、全国各地から延べ153名が視聴し、文化の家の周知にも繋がった。会場とオンラインの双方で質疑応答を受け多くの質問が出た。医療関係者の参加もあり、医療分野にも芸術の必要性を訴えることができた。 現地での参加者が少なかったことから、次回開催までに更なる広報活動が必要と感じた。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	キッズ・サマー・シネマ 「ワンダー 君は太陽」		
日 時	令和3年8月21日（土）	10時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	市民参画事業		
出演者	ジュリア・ロバーツ、オーウェン・ウィルソン、ジェイコブ・トレンブレイ		
公演内容	ワンダー 君は太陽		
入 場 者 数	80	席設定 40	入場率 100.0%
チケッ	500円（前売） 500円（当日）		
支 出	【委託費】		165,880円
	【印刷製本費】	チラシ5,000部	17,193円
	計		183,073円
収 入	【入場料】		41,500円
	計		41,500円
回 収 率			22.7%
アンケート結果	<p>思ったより部屋が小さかった。いい映画だったので、もっとたくさんの人に見てもらってよいと思う。（市内40代男性）</p> <p>このイベントは初めだった。「人間とは何か」改めてそれを考えさせられた。長久手の文化的施設、市民の皆様に感謝！（市外無回答男性）</p> <p>とてもいい映画だった。本を読んだので内容は知ってましたが感動した。（市内40代女性）</p> <p>かんどうしてすごくいい。（市内9歳以下女性）</p>		
成 果	<p>シネマ倶楽部のメンバーが、夏休み中、子供達にも楽しんでもらえる映画をと、試写、会議を繰り返し選定した作品。毎月開催している「シネマの楽しみ」の常連客や、4人で観に来たという家族連れ何組かがおとずれた。今後も、有料、無料ともに市民に楽しんでもらえる作品を選定していきたい。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 創造スタッフ小西祐矢個展「交差する人生」

日時 令和3年8月26日(木)から9月5日(日)まで 10時から19時まで(最終日は17時まで)

場所 展示室

事業の種類 鑑賞・体験事業

出演者 小西祐矢

公演内容 今年度から新しく美術系創造スタッフになった小西祐矢のおひろめ展覧会として開催。同じ時代を共有してきたアーティストの体験とその作品の関係性を比較することで、お客さんに「ものづくり」の原点を思考する機会を提供し、新たな創造へと繋げるのが狙い。「交差する人生」をテーマに“自分がつくったもの”と“自分をつくったもの”を展示し、展示室内には約100点以上の作品が並んだ。

入場者数 327

支出	【需用費】	消耗品費	17,415円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費	16,102円
		計	33,517円

収入	【入場料】	入場料無料のため	0円
		計	0円

回収率 0.0%

絵を書いている私にとってこの想像力の豊かさに「スッキリ」した。絵を続ける気になった。(市外、60代女性)


アンケート結果 出展者の子どもころの作品から大人の時の作品まで時代の移り変わりを感じられた。(市内、10代男性)

展示内容についての説明がもう少し多いと初心者には助かる。(市内、50代男性)

担当者コメント 今年度から新たに美術系創造スタッフになった小西祐矢のおひろめ展示として開催。これまで彼が影響を受けてきたものを軸に、幼少期の作品から現代の作品まで約100点以上を展示し、壁に飾るだけでなく床にも作品を敷き詰めて空間全体としての作品の見せ方を展開した。アンケートからは賛否両論あったが概ねよい意見が多く、お客さんに新しい刺激や驚きの出会いを提供できた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	午後の佇み特別編 バロック音楽でふらっと時間旅行～爽涼の午后へようこそ		
日時	令和3年8月28日（土）	16時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	森川郁子（ソプラノ）、高橋弘治（バロック・チェロ）、 瀧井 レオナルド（テオルゴ）、上羽剛史（チェンバロ）		
公演内容	カンタータ「ルクレツィア」HWV.145（ヘンデル）、「そんな風に思うなんて」（メーラ）、オペラ「リナルド」より「私を泣かせてください」（ヘンデル）、チェロ・ソナタ第4番変ロ長調 RV.45（ヴィヴァルディ）		
入場者数	180	席設定 200	入場率 90.0%
チケット	1,000円（前売） 1,000円（当日）		
支出	【委託費】		300,000円
	【印刷製本費】	チラシ印刷費	14,097円
	計		314,097円
収入	【入場料】		192,000円
	【補助金】	文化庁文化芸術振興費補助金 （劇場・音楽堂等機能強化推進事業）、独立行政法人日本芸術文化振興会※見込額	122,097円
	計		314,097円
回収率	100.0%		
アンケート結果	最後のルクレツィアは初めて聴いた。作品がドラマティックで、4人でこれだけのドラマをみせてもらい、感動した。（市外、60代女性） 会場規模にマッチした企画だった。（市外、70代男性） コロナ渦でも予定通り開催してくれてありがとう。歌詞や楽器の説明をスクリーンに投影するなど、随所に配慮がありとてもよかった。（市外、60代女性）		
成果	平日の昼間に気軽に来られる午後の佇みシリーズ。今回は特別編として、土曜日夕方に開催した。愛知県在住バロックチェロ奏者高橋弘治を中心としたアンサンブルが出演。イタリアのバロック音楽を演奏した。手軽な価格で本格的な演奏が楽しめることもあり、発売開始直後からチケット販売状況はよかった。演奏だけではなく、楽曲や楽器について奏者自ら解説したり、歌詞の日本語訳を投影するなど、親しみやすい工夫が施されていた。来場者からは、緊急事態宣言下で開催できたこと、質の高い公演への感動の声が聞かれた。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 2021ジョイントフェスティバル「らふいゆれふいゆ」

日時 令和3年9月4日(土) 14時00分開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業(子ども)

出演者 シモシュ、LONTO、Chang

公演内容 らふいゆれふいゆ

入場者数 154 席設定 173 入場率 89.0%

チケット
 フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料(前売)
 フレンズ会員・一般2,000円、小・中学生1,000円、未就学児500円※3歳以下ひざ上鑑賞無料(当日)

支 出	【委託費】	公演委託費	604,006円
		チラシ印刷費	15,643円
	計		619,649円

収 入	【入場料】		222,500円
	計		222,500円

回収率 36.8%

たたみ席などあり、よかった。小さいお子さんがリラックスして観ることができる。(市内30代女性)

アンケート結果 コミカルなLONTO、シュールなChang、それに巻き込まれるシモシュの組み合わせが最高!笑って、技にうなって、最後の演奏では楽しさと共に涙もなぜか出てきました。
 この状況だからこそ心に沁みました。心のこもった舞台をありがとう!(市外40代男性)

成果 2021ジョイントフェスティバル協議会で選定した作品。パントマイムと音楽とで個性のすばらしさを表現するパフォーマンス。はじめはよそよそしい三人が最終的に仲良くなるという話はよくあるが、この作品は、互いに個性を認め合い、仲良くなっていくプロセスも盛り込まれていた。パントマイムと音楽だけで伝えるのは容易ではないが、出演者の技術の高さが最後には感動を呼び起こした。コロナ禍で人と人とのふれあいがなかなか許されない今だからこそ、今後も互いに認め合うことの大切さを伝えられるような演劇を提供していきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	MemorialComposers②シェーンベルク《浄夜》		
日時	令和3年9月8日（水）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	平光 真彌（ヴァイオリン）、久米 浩介（ヴァイオリン）、新谷 歌（ヴィオラ）、橋本 歩（ヴィオラ）、佐古 健一（チェロ）、波多 和馬（チェロ）		
公演内容	浄夜（弦楽六重奏版）（シェーンベルク）、 弦楽四重奏曲 ホ短調（ツェムリンスキー）、弦楽五重奏曲～アダージョ（ブルックナー）		
入場者数	64	席設定 200	入場率 32.0%
チケット	一般2,000円、フレンズ会員1,800円（前売） 一般2,000円（当日）		
支出	【委託費】		378,000円
	印刷製本費	（チラシ印刷費）	21,293円
	計		399,293円
収入	【入場料】		127,800円
	計		127,800円
回収率			33.8%
アンケート結果	<p>「浄夜」がドラマティックで美しく、心が「浄化」されるようだった。（名古屋市、70代女性）</p> <p>身近に室内楽を感じられ、よい企画だった。（名古屋市、70代男性）</p> <p>初めて聴く曲ばかりだったが、演奏前に説明があり、勉強になった。（愛知県内、50代女性）</p>		
成果	<p>2021年にアニバーサリーを迎える作曲家にスポットをあてた企画第2弾。没後70年を迎えたシェーンベルク「浄夜」をメイン曲とした。出演は、ヴァイオリン奏者平光真彌氏を始めとする地元の弦楽器奏者6名。演奏機会が少ない楽曲であったこともあり、来場者からの評価も高かった。しかし、有名な作品・作曲家ではないこと、緊急事態宣言発出中ということが重なり、チケットの売れ行きはよくなかった。コアな作品を取り上げる際の広報について課題が残る公演となった。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ第2弾 おじいさんとらんぷ		
日 時	令和3年9月23日（木）	11時00分/14時00分開演	
場 所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業		
出演者	大脇ばんだ（朗読/演劇系創造スタッフ） 弓立翔哉（打楽器/音楽系創造スタッフ） 小田智之（作曲・ピアノ/音楽系創造スタッフ）		
公演内容	新美南吉「おじいさんのらんぷ」		
入場者数	79(2回公演)	80(2回公演)	入場率 98.8%
チケット	500円（前売） 500円（当日）		
支 出	【委託費】		
	【印刷費】	チラシ印刷費	16,102円
	計		16,102円
収 入	【入場料】		
	計		39,500円
回 収 率	245.3%		
アンケート結果	朗読、音楽が迫力があって目をつぶると情景が浮かび上がり物語の世界へ入っていきました。涙がでた。（市内30代女性） すぐくお話に音楽が合っていて、絵がなくても創造がしやすかった。（市内9歳以下女性） 小さい子には声と音だけでは集中力が持たなかった。お話の内容が少し難しかったので、大人や中高生向きだと思う。（市内30代女性）		
成 果	<p>昨年からはまった「朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ」の第2弾。今回は愛知県半田市出身の児童文学作家の代表作「セロ弾きのゴーシュ」をお届けした。2回とも満席となり、親子連れから高齢者まで幅広い年齢層の方に来ていただけた。創造スタッフの音楽系と演劇系のコラボとなり、他ジャンルとのコラボは彼らにとってもいい経験となった。反省点として、対象年齢4歳以上としていたが60分間の朗読公演は未就学児には少し難しく、小中学生を対象として広報していくべきだった。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	室内楽の楽しみ		
日 時	令和3年9月26日（日）	16時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業(提携)		
出演者	伊藤万佑子(Pf.)、安嶋美裕(Fl.)、国崎祐未(Ob.)、圖子怜央奈(Cl.)、櫻井凜央(Pf.)、前田雄輝(Vn.)、高間健悟(Cl.)、猪子奈津子(Vn.)、園部真秀(Va.)、安田果穂(Vc.)、山口翔也(Pf.)、和田さくら(Tp.)、伊藤歩美(Hr.)、高橋喜仁(Tb.)、山梨晴哉(Pf.)、西浦千陽(Fl.)、山本奈緒(Cl.)、河内みく(Pf.)、井上春花)、若林めぐみ(Va.)、亀滝和音(Vc.)、大田梨湖(Pf.)、飯田桐乃(Vn.)、貫名紗詠(Vc.)		
公演内容	デンマークとロシア民謡によるカプリス 作品79 (C.サン=サーンス) ヴァイオリン、クラリネット、ピアノのための組曲 作品157b (D.ミヨー) 幻想曲 (オーボエと弦楽トリオのための) 作品2 (B.ブリテン) レクリエーションより 第1.3楽章 (P.ガベイ) ピアノ五重奏曲第2番イ長調 作品81より第1楽章 (A.ドヴォルザーク) ピアノ三重奏イ短調より 第3.4楽章 (M.ラヴェル)		
入 場 者 数	80	席設定 90	入場率 88.9%
チケッ	一般・フレンズ1,000円、学生500円 (前売) 一般・フレンズ1,000円、学生500円 (当日)		
支 出	【委託費】	提携事業のため支出なし	
	計	0円	
収 入	【入場料】	提携事業のため収入なし	
	計	0円	
回 収 率	—		
アンケート結果	若いエネルギーに溢れた人たちの熱演に感嘆した。馴染みの曲目はあまりなかったが、個性のある演奏で楽しませてもらった。(県内90代女性) コロナでどこにも出かけられない事ばかりで気持ちが落ち込んでいたが若い方の素晴らしい演奏を聴くことが出来、久しぶりに心晴れやかになった。(無回答男性) 楽器の組み合わせが何パターンもあり、それぞれのハーモニーを楽しむことができた。(市内70代男性)		
成 果	<p>学内オーディションによって選抜された室内楽グループによる演奏会。人気の事業で、去年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となったが、二年ぶりに定員50%の客席設定で開催。3回のミーティングを文化の家事務局と出演者で開催し、奏者自らコンサートの運営、新聞取材のやり方などを学ぶ機会にもなった。今年は、メジャーな演奏曲がなかったが、即日完売となった。より多くのお客様に見てもらうため、文化の家スタッフが撮影した動画を、後日配信することとなった。</p>		



令和3年度シネマの楽しみ

期日	開演	名称	入場者
4/8(木)	10:00 14:00	或る夜の出来事	39 35
5/13(木)	10:00 14:00	自転車泥棒	33 27
6/10(木)	10:00 14:00	トロッコ	38 35
7/10(木)	10:00 14:00	市民ケーン	36 38
9/9(木)	10:00 14:00	西部戦線異状なし	39 29
10/14(木)	10:00 14:00	シェーン	37 32
11/11(木)	10:00 14:00	地獄門(予定)	
12/9(木)	10:00 14:00	大いなる幻影(予定)	
1/13(木)	10:00 14:00	レベッカ(予定)	

令和3年度ふくしであーと 実施一覧

No.	日にち	場所	対象	参加者数	出演	内容
1	4月20日	元福井医院 駐車場	高齢者	30人	弓立翔哉 小田智之	3密を考慮して駐車場での青空演奏会
2	6月25日	たいようの杜 ハモリー館・杜っと館	高齢者	30人	石川貴憲 弓立翔哉 小田智之	3密を考慮してバルコニーでの青空演奏会
3	7月2日	ハートフルハウス 楽家晴	高齢者	25人	石川貴憲 小田智之	3密に配慮した上で施設内で演奏会
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						